

# 【2023年卒】学生の就職活動調査



株式会社 求人おきなわ

営業部

## 調査概要

- 調査目的：学生の就職活動の動向を把握する
- 調査対象：2023年3月卒業予定の新規学卒者（大学・専門学校等）、既卒者
- 調査期間：2022年3月1日、4月20日
- 調査方法：「2022年3月・4月開催のアグレ新卒就活フェスタ」に参加した学生にアンケート用紙を配布、回収  
※設問ごとに有効回答のみで集計  
※構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません
- アンケート回収数：348件 ※有効回答数：343件

| 学校種別    | 男性  | 女性  | 無回答 | 総計  |
|---------|-----|-----|-----|-----|
| 大学      | 84  | 103 | 1   | 188 |
| 大学院     | 2   | 2   | 0   | 4   |
| 短期大学    | 2   | 16  | 0   | 18  |
| 専門・専修学校 | 70  | 68  | 0   | 138 |
| 総計      | 158 | 189 | 1   | 348 |

※前年比データについて：前年(2022年卒)対象調査サンプルは「2021年3月・4月開催のアグレ新卒就活フェスタ」に参加した学生にアンケート用紙を配布、回収

本調査に関するお問い合わせは、下記へお願い申し上げます。

株式会社 求人おきなわ 営業部

TEL : 098-862-2490 FAX : 098-862-2630

## Digest -ダイジェスト-

| Contents -コンテンツ-                                                                                                                       | page -ページ- |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| ●【総括】                                                                                                                                  | 3・4        |
| ● 学生が就職先選びで重視することと企業が採用活動で学生へアピールしたいこと<br>2023年卒学生が就職先選びで重視したこと1位は「給与水準」(企業アピール14位)。<br>企業が学生へアピールしたい1位は「職種・仕事内容」(学生重視4位)。             | 5          |
| ● 就職先選びで重視する理由<br>学生が「給与水準」を重視する理由は『自分が家庭を持った際に安定できる収入を得る為』<br>『給料がないと暮らせないし、やりがいがないと仕事が長続きしない為』等。                                     | 6・7        |
| ● 興味のある業界、興味のある職種<br>興味のある業界の上位は「サービス」、「金融・証券・保険」、「IT・情報通信」、「卸売・小売・流通」、「ホテル・旅行」の順。<br>興味のある職種の上位は「事務」、「接客・サービス」、「営業」、「クリエイティブ」、「販売」の順。 | 8・9        |

## Digest -ダイジェスト-

### Contents -コンテンツ-

page -ページ-

|                                                                                                                                                                                                |       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| ● 知りたい情報・活用したいツール                                                                                                                                                                              | 10・11 |
| 就職活動中に強く知りたいと思う情報の上位は「具体的な仕事内容」、「社内の人間関係や職場の雰囲気」、「社員にとっての仕事のやりがい」の順。<br>就活で活用したいツールの上位は「WEB(視聴型)説明会」、「WEB(ライブ型)説明会」、「企業の動画配信(ユーチューブ)」、「企業のSNS配信」、「エージェント(職業紹介)」の順。SNSを活用した情報収集が支持された。          |       |
| ● 就活開始時期、就活を終了したい時期                                                                                                                                                                            | 12・19 |
| 23年卒の就活開始時期は「1月以前」が最も多く、67.4%を占めた。<br>就活を終了したい時期は6月～10月に83.0%が集中し、最多は「10月」22.1%であった。                                                                                                           |       |
| ● エントリー状況                                                                                                                                                                                      | 13    |
| エントリー状況は、「エントリーあり」45.1%、「エントリーなし」54.9%。エントリー社数は、「1～5社」55.6%が最多。<br>平均エントリー社数は全体8.4社、大学生9.2社、専門・専修学校生5.3社。                                                                                      |       |
| ● 会社訪問や個別会社説明会、学外の合同企業説明会への参加状況                                                                                                                                                                | 14・15 |
| 会社訪問・個別会社説明会の参加状況は「参加あり」60.9%、「参加なし」39.1%。参加社数は、「1～5社」73.0%が最多。平均参加社数は全体4.2社、大学生4.5社、専門・専修学校生3.8社。<br>学外の合同企業説明会の参加状況は「参加あり」80.2%、「参加なし」19.8%。参加回数は「2回」が最多。平均参加回数は全体3.4回、大学生3.8回、専門・専修学校生2.9回。 |       |
| ● 応募・選考状況                                                                                                                                                                                      | 16・17 |
| 応募状況は「応募あり」23.5%、「応募なし」76.5%。応募社数は「1社」が最多。平均応募社数は全体3.7社、大学生4.0社、専門・専修学校生3.2社。<br>選考状況は「選考あり」17.1%、「選考なし」82.9%。「選考あり」学生の選考社数は「1社」が最多。平均選考社数は全体2.3社、大学生2.4社、専門・専修学校生1.8社。                        |       |
| ● 内定状況                                                                                                                                                                                         | 18    |
| 内定状況は「内定あり」3.8%、「内定なし」96.3%。内定社数は、「1社」50.0%が最も多い。平均内定社数は全体1.7社、大学生1.7社、専門・専修学校生1.0社。                                                                                                           |       |
| ● インターンシップ参加状況・参加時期                                                                                                                                                                            | 20    |
| インターンシップの参加状況は「参加あり」49.4%、「参加なし」50.6%。<br>インターンシップへ参加した時期は、広報解禁前月の「2022年2月」97.7%が最多。次いで「2021年8月」50.8%。                                                                                         |       |
| ● インターンシップ参加感想                                                                                                                                                                                 | 21    |
| インターンシップ参加学生が、参加企業に感じたこと上位は「企業のイメージが良くなった」、「採用があれば選考を受けたいと思った」、「興味が湧き企業研究をしたいと思った」の順。インターンシップへ参加経験が、好印象につながったことが窺える。                                                                           |       |

### 【総括】

#### ～2023年卒学生の動き（P12～P19）～

政府が要請する2023年卒・修了予定者等の就職・採用活動スケジュール(※1)に沿い、2023年卒新卒学生対象の就職関連イベントを2022年3月1日の広報解禁を軸とし、解禁日及び翌月の就活イベントを「就活フェスタ(合同企業説明会)」と位置付け開催。参加学生へアンケート用紙を配布・回収する方式で就活解禁前後の学生の動向を探った。

2023年卒学生の就職活動開始時期は「2022年1月以前」が最も多く67.4%。広報解禁に着目すると、解禁前に就職活動を開始した学生が、22年卒より8.6ポイント増加している(23年卒:83.1%、22年卒74.5%)。学校別でも、大学生は88.6%で前年比4.6ポイント増加、専門・専修学校生は76.6%で前年比14.1ポイント増加しており、22年卒と比較し、特に専門・専修学校生の早まりが強い。

就活の終了希望時期は「10月」22.1%をピークに6月～10月に全体の83.0%が集中し、選考解禁～正式な内定が解禁となる10月までに就活を終えたいと考えている学生が多いことが窺えた。

※1 2023年卒採用活動では、企業の採用広報解禁時期を2022年の3月、採用選考活動開始は2022年の6月、正式な内定日は2022年10月以降とした。

3月・4月の学生の就職活動量をみていくと、一人あたりの平均エントリー社数は8.4社(大学生9.2社、専門・専修学校生5.3社)。全体、大学生の平均エントリー社数が前年と比べ増加(全体0.2ポイント、大学生0.7ポイント増加)。

会社訪問・個別会社説明会の平均参加社数は4.2社(大学生4.5社、専門・専修学校生3.8社)。全体と大学生で前年より減少した(専門・専修学校生は前年同数値)。

学外の合同企業説明会の平均参加回数は3.4回(大学生3.8回、専門・専修学校生2.9回)。専門・専修学校生の平均参加回数が前年より増加した(全体、大学生は前年同数値)。

企業への平均応募社数は全体3.7社(大学生4.0社、専門・専修学校生3.2社)。全体と専門・専修学校生で前年より減少した。選考へ進んでいる平均社数は全体2.3社(大学生2.4社、専門・専修学校生1.8社)。大学生が前年より微増した。

内定獲得平均社数は全体1.7社(大学生1.7社、専門・専修学校生1.0社)。選考解禁前ながら内定を獲得している学生の姿もあった。

23卒採用予定企業は、広報解禁前の2月以前から広報や個別会社説明会を開始(または開始予定)する企業が6割前後あり、22年卒採用と比較し早期から動き出しの様相(※2)。企業の動きの早期化と学生の就活開始の早期化との相関がみられる。

23年卒を対象とした企業の採用活動計画調査(※2)では、3月広報解禁前の2月以前に広報を開始した企業が57.9%を占め、個別会社説明会でも60.1%の企業が3月広報解禁前に開始した。また、選考開始ピーク月は広報解禁月の3月、面接開始は「未定」20.0%が最も多いものの、選考解禁前月の5月と選考解禁月の6月が同率次点で17.8%。

※2 「【2023年卒】企業の採用活動計画調査」2023年新卒採用活動企業を対象に2021年11月～12月に調査。

#### ～学生が就職先選びで重視したことと企業が採用活動で強くアピールしたこと、就職先選びで重視する理由（P5～P7）～

学生が就職先企業を選ぶ重視条件トップ5は、1位「給与水準」(企業アピール14位)、2位「勤務時間・休暇」(企業アピール12位)、3位「勤務地」(企業アピール19位)、4位「職種・仕事内容」(企業アピール1位)、5位「教育・研修制度」(企業アピール4位)であった。

学生・企業共に上位5位内となったのは学生4位・企業1位の「職種・仕事内容」と学生5位・企業4位の「教育・研修制度」。

企業アピール2位の「社風・コーポレートカラー」は学生16位、3位の「社会や地域への貢献度」は学生18位と、社風や社会貢献といったアピール要素は、学生の重視条件としては下位の方であった。

就職先企業を選択する際の重視条件1位「給与水準」を選択した理由として、『自分が家庭を持った際に安定できる収入を得る為』『給料がないと暮らせないし、やりがいがないと仕事が長続きしない為』等が挙げられ、2位「勤務時間・休暇」では、『プライベートの時間を大切にしたいから』等。3位「勤務地」では『県内で自分の力を活かせる企業を選びたい』等、4位「職種・仕事内容」では『詳しく仕事内容が知りたいとどういった企業かわからないから』等、5位「教育・研修制度」では『しっかり教育環境が整っていて、自分の能力が活かせる職業がいいから』等が挙げられた。

コロナ禍の不透明感や働き方改革が浸透する中、広報解禁時期の学生は給与・勤務時間や休暇、働く場所など、プライベートに影響する条件を重視する傾向が窺える。

23年卒を対象とした企業の採用活動計画調査(※2)で、採用活動において企業が学生へアピールしたい上位は、1位「職種・仕事内容」、2位「社風・コーポレートカラー」、3位「社会や地域への貢献度」、4位「教育・研修制度」、5位「専門知識や技術が身につく」など。

---

#### ～興味のある業界、興味のある職種（P8～P9）～

学生が興味のある業界で人気が高かったのは1位「サービス」、2位「金融・証券・保険」、3位「IT・情報通信」、4位「卸売・小売・流通」、5位「ホテル・旅行」。

興味のある職種では、1位「事務」、2位「接客・サービス」、3位「営業」、4位「クリエイティブ」、5位「販売」だった。

#### ～学生が知りたい情報や活用したいツール（P10～P11）～

就職活動中に強く知りたいと思う情報は1位「具体的な仕事内容」、2位「社内の人間関係や職場の雰囲気」、3位「社員にとっての仕事のやりがい」となっており、働くイメージをより具体的に得られる情報を求めていることが窺える。

また、4位「実際の勤務時間や残業時間」や6位「仕事とプライベートの両立の実態」については、先の設問「就職先企業を選ぶ重視条件」の上位回答に「勤務時間・休暇」が挙げられていることから、プライベートを重視する志向がより浮かび上がってくる。

就活で活用したいツールは、1位・2位に「WEB説明会」が挙げられている（「WEB(視聴型)説明会」73.5%、「WEB(ライブ型)説明会」49.2%）他、3位の「企業の動画配信(ユーチューブ)」は前年5位から、4位の「企業のSNS配信」は前年8位からそれぞれ順位を上げており、WEB説明会やSNSを活用した就職活動へのニーズの高まりが窺える。

採用予定企業の活動計画で新たに取り組みたいこととして、コロナ禍2年目となる22年卒より多く挙がっていた『オンライン説明会、動画作成、リモート面接、SNS採用』などからも、ウィズコロナ時代の採用・就職活動はオンライン導入という活動の変化を学生と企業の双方に与えている。

22年卒採用時に新たな取り組みを導入した企業が増えた結果、相対的に23年卒の「新たな取り組みなし」回答が増加したものと思われる。

#### ～インターンシップの参加状況や参加時期、参加した感想（P20～P21）～

インターンシップの参加状況は「参加あり」49.4%、「参加なし」50.6%。

インターンシップへ参加した時期は、広報解禁前月の「2022年2月」に97.7%が集中。「2021年8月」も50.8%が参加しており、学校の春期・夏期休業時期を活用して参加している様子が窺える。22年卒と比較すると、解禁目前の2月がピーク月で次点が前年8月という構図に変わりはないが、参加割合は23年卒がどちらも増加(前年同月比:「2022年2月」44.4ポイント増、「2021年8月」28.0ポイント増)。2021年はコロナ禍2年目となり、コロナ禍1年目の22年卒よりインターンシップ参加機会が増えたことが窺える。

インターンシップへ参加した感想として「企業イメージが良くなった」75.8%、「採用があれば選考を受けたいと思った」62.5%、「興味が湧き企業研究をしたいと思った」40.8%と、好印象と感じた回答が上位を占めた。

新卒者を対象としたインターンシップへの取り組みについて、9割超の企業が「採用手法として有効」と回答しており(※2)、その理由として『応募数確保以外に、イメージが付きやすく、お互いのミスマッチを防ぐことにもつながる。応募しなくても、経験として自分の力になるため』『学生側はこの企業がどのような企業なのか把握することが出来るのでミスマッチを防げる。採用側は学生と接触回数が増えることにより、この学生が弊社の人材として採用していいか判断材料が増える』等が挙げられている。参加学生の感想からも企業イメージの向上や今後の志望企業として意識していることが見てとれ、企業風土の理解や就業後のミスマッチ防止など、採用に直結する人材と出会う活動の一環となっている。

---

23年卒を対象とした企業の採用活動計画調査(※2)では、インターンシップ実施企業(実施予定企業)68.9%、インターンシップが採用手法として有効と回答した企業91.1%であった。

---

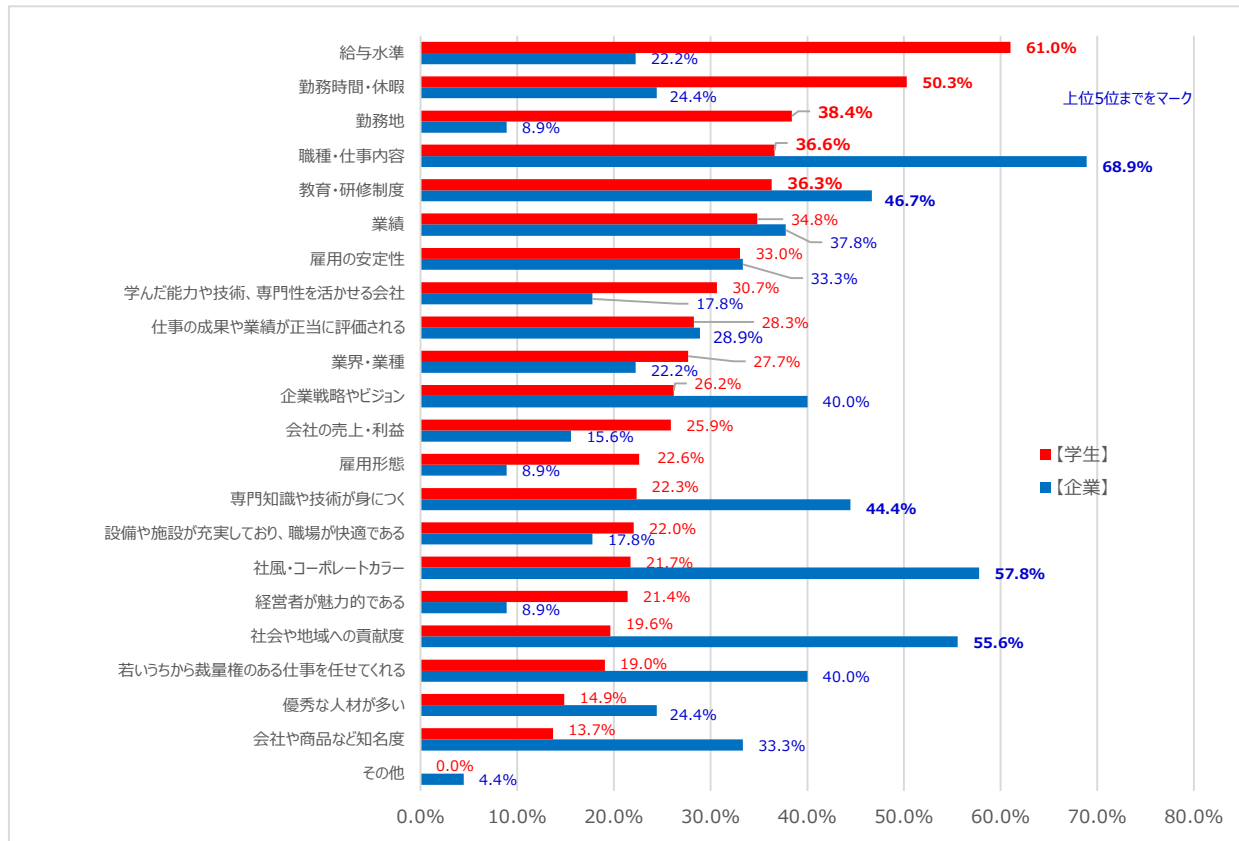
## ● 学生が就職先選びで重視することと企業が採用活動で学生へアピールしたいこと

新卒学生が就職先企業を選択する際の重視条件は、1位「給与水準」61.0%、2位「勤務時間・休暇」50.3%、3位「勤務地」38.4%、4位「職種・仕事内容」36.6%、5位「教育・研修制度」36.3%の順。一方、企業が学生へアピールしたいことは、1位「職種・仕事内容」（学生重視4位）、2位「社風・コーポレートカラー」（学生重視16位）、3位「社会や地域への貢献度」（学生重視18位）、4位「教育・研修制度」（学生重視5位）、5位「専門知識や技術が身につく」（学生重視14位）であった。

※ 「【2023年卒】企業の採用活動調査」2023年新卒採用活動企業を対象に2021年11月～2021年12月に調査

### ■ 学生が就職先選びで重視したいことと企業が採用活動で学生へアピールしたいこと（複数回答）

★23年卒学生：3・4月合説参加者(n=336)、23年卒採用予定企業(n=45)、22年卒学生：3・4月合説参加者(n=298)



| 企業を選択する際の重視項目        | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|----------------------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|                      | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| 給与水準                 | 61.0% | 58.1% | 65.7% | 64.4% | 53.4%      | 47.6% |
| 勤務時間・休暇              | 50.3% | 45.3% | 46.4% | 46.1% | 49.6%      | 39.8% |
| 勤務地                  | 38.4% | 44.0% | 41.4% | 42.2% | 36.1%      | 42.7% |
| 職種・仕事内容              | 36.6% | 37.6% | 31.5% | 40.0% | 41.4%      | 31.1% |
| 教育・研修制度              | 36.3% | 30.5% | 38.1% | 40.0% | 35.3%      | 14.6% |
| 業績                   | 34.8% | 28.5% | 33.1% | 30.6% | 37.6%      | 27.2% |
| 雇用の安定性               | 33.0% | 27.5% | 32.0% | 33.9% | 31.6%      | 12.6% |
| 学んだ能力や技術、専門性を活かせる会社  | 30.7% | 32.2% | 22.1% | 35.0% | 44.4%      | 27.2% |
| 仕事の成果や業績が正当に評価される    | 28.3% | 20.1% | 25.4% | 24.4% | 32.3%      | 13.6% |
| 業界・業種                | 27.7% | 22.5% | 30.4% | 28.3% | 25.6%      | 9.7%  |
| 企業戦略やビジョン            | 26.2% | 24.5% | 33.7% | 32.2% | 18.0%      | 9.7%  |
| 会社の売上・利益             | 25.9% | 30.5% | 28.7% | 25.0% | 24.1%      | 41.7% |
| 雇用形態                 | 22.6% | 24.5% | 21.5% | 26.1% | 23.3%      | 18.4% |
| 専門知識や技術が身につく         | 22.3% | 23.8% | 19.3% | 25.6% | 26.3%      | 19.4% |
| 設備や施設が充実し、職場が快適である   | 22.0% | 18.1% | 20.4% | 22.2% | 24.8%      | 9.7%  |
| 社風・コーポレートカラー         | 21.7% | 21.8% | 27.1% | 28.9% | 14.3%      | 10.7% |
| 経営者が魅力的である           | 21.4% | 14.1% | 22.7% | 18.3% | 20.3%      | 6.8%  |
| 社会や地域への貢献度           | 19.6% | 22.8% | 25.4% | 30.6% | 12.8%      | 9.7%  |
| 若いうちから裁量権のある仕事を任せられる | 19.0% | 11.1% | 25.4% | 12.8% | 12.8%      | 6.8%  |
| 優秀な人材が多い             | 14.9% | 10.1% | 17.7% | 11.1% | 12.0%      | 7.8%  |
| 会社や商品など知名度           | 13.7% | 14.1% | 14.9% | 17.8% | 12.0%      | 8.7%  |

表内・上位5位までをマーク

## ●就職先選びで重視する理由

就職先企業を選択する際の重視条件1位「給与水準」を選択した理由では『自分が家庭を持った際に安定できる収入を得る為』『給料がないと暮らせないし、やりがいがないと仕事が長続きしない為』等、2位「勤務時間・休暇」では『プライベートの時間を大切にしたいから』等、3位「勤務地」では『県内で自分の力を活かせる企業を選びたい』等、4位「職種・仕事内容」では『詳しく仕事内容が知れないとどういった企業かわからないから』等、5位「教育・研修制度」では『しっかり教育環境が整っていて、自分の能力が活かせる職業がいいから』等が挙げられた。

広報解禁時期の学生は、給与水準や勤務時間・休暇、勤務地などプライベートに影響する条件を重視する傾向が窺える。

### ■就職先選びで重視する理由（自由回答）

#### 【給与水準】との回答理由

- ・自分が家庭を持った際に安定できる収入を得る為。
- ・お金がないと生きていけないから。
- ・給料がないと暮らせないし、やりがいがないと仕事が長続きしない為。
- ・お金大事！
- ・給料と休みは大切だからです。

#### 【勤務時間・休暇】との回答理由

- ・プライベートの時間を大切にしたいから。
- ・休みをしっかりと取れる所がいいから。
- ・体が壊れたら意味がないから。
- ・ライフプランとの両立。
- ・安定しているのと、プライベートの時間が大事だったため。
- ・やりがいのバランスと、休める期間。

#### 【勤務地】との回答理由

- ・沖縄勤務希望の為。
- ・内地希望だから。
- ・沖縄県内で働きたいのと、安定した生活を送りたいから。
- ・県内で自分の力を活かせる企業を選びたい。

#### 【職種・仕事内容】との回答理由

- ・自分の希望と違い、ミスマッチしたら辞める原因になるから。
- ・詳しく仕事内容が知れないとどういった企業かわからないから。
- ・自分に合った仕事がしたいから。

#### 【教育・研修制度】との回答理由

- ・しっかり教育環境が整っていて、自分の能力が活かせる職業がいいから。
- ・研修が出来て、仕事内容や教育ができる。
- ・アルバイトから、教育の大事さを知ったから。
- ・特に教育制度や裁量権のある会社を重視している。若いうちからキャリアを積んで活躍したい為。

#### 【業績】との回答理由

- ・長く働くうえで大切なことだと思うから。
- ・安定を求めているから。
- ・長く安定して勤めたいから。

#### 【雇用の安定性】との回答理由

- ・長く1つの企業で働きたいから。
- ・企業に入ったら長く勤めたいので、安定性や展望は気にしている。
- ・働き続けられるところに就職したいから。
- ・安定した所で長く働きたいため。

### 学んだ能力や技術、専門性を活かせる会社

- ・専門学校で学んだ知識を最大限に活かしたいので。
- ・学んできた資格を活かしたいから。
- ・今ある知識を生かしながら、もっとスキルアップできる会社を知りたいから。
- ・学んだ能力を最大限活用できなければ意味がないと思うため。



【仕事の成果や業績が正当に評価される】との回答理由

- ・成長する自分を形として示し、他者に評価を受け取ることが重要！

【業界・業種】との回答理由

- ・自分の興味のあることに全力で取り組みたいので、業務内容や企業の支援制度を重視したい。
- ・自分の希望する会社に働けるかどうかを把握しないといけない。

【企業戦略やビジョン】との回答理由

- ・自分の価値観と企業の価値観がマッチしないと嫌だから。
- ・理念に共感できるかによって、働き甲斐が変わってくると考えるため。

【会社の売上・利益】との回答理由

- ・この重視するポイントがあまりよくないと、長く働き続けられないと思うから。

【雇用形態】との回答理由

- ・働く上で大切だと思うから。
- ・長く働きたいから。

【専門知識や技術が身につく】との回答理由

- ・知識や技術を身につけることで、さらなるキャリアアップを見通せそう。
- ・転職の際に役に立つこと。
- ・定年した後でも自身のスキルを身につけることで、退職後の生活が豊かになると思うから。

【設備や施設が充実しており、職場が快適である】との回答理由

- ・働きやすい環境で働くことが自分自身の中で、一番重要だからです。
- ・働く時の環境がとても大切だと思うから。

【社風・コーポレートカラー】との回答理由

- ・社風がいいと働きやすい。
- ・会社の雰囲気が悪くないと、やっていけるか不安だから。
- ・雰囲気のいい会社で働きたいからです。
- ・一緒に働くメンバーのチームワークや雰囲気を大事にしたいからです。

【経営者が魅力的である】との回答理由

- ・人柄などを大切にしたいからです。

【社会や地域への貢献度】との回答理由

- ・自分の力で沖縄に貢献している実感が欲しい。
- ・社会貢献や、職場の雰囲気を就職活動の軸としている。

【若いうちから裁量権のある仕事を任せてくれる】との回答理由

- ・若いうちから色々経験して、将来人材を管理できる人になりたいから。
- ・やりがいを持って若手のうちからチャレンジしていきたい為。
- ・若い時から責任ある仕事に携わってくれる会社で働くことは、キャリアプランを描きやすくなるから。
- ・若いうちから活躍したい。そして安定した暮らしだったらより良いと感じたから。

【優秀な人材が多い】との回答理由

- ・自分のモチベーションを上げて、仕事に取り組めるからです。

【会社や商品など知名度】との回答理由

- ・知名度が大事。

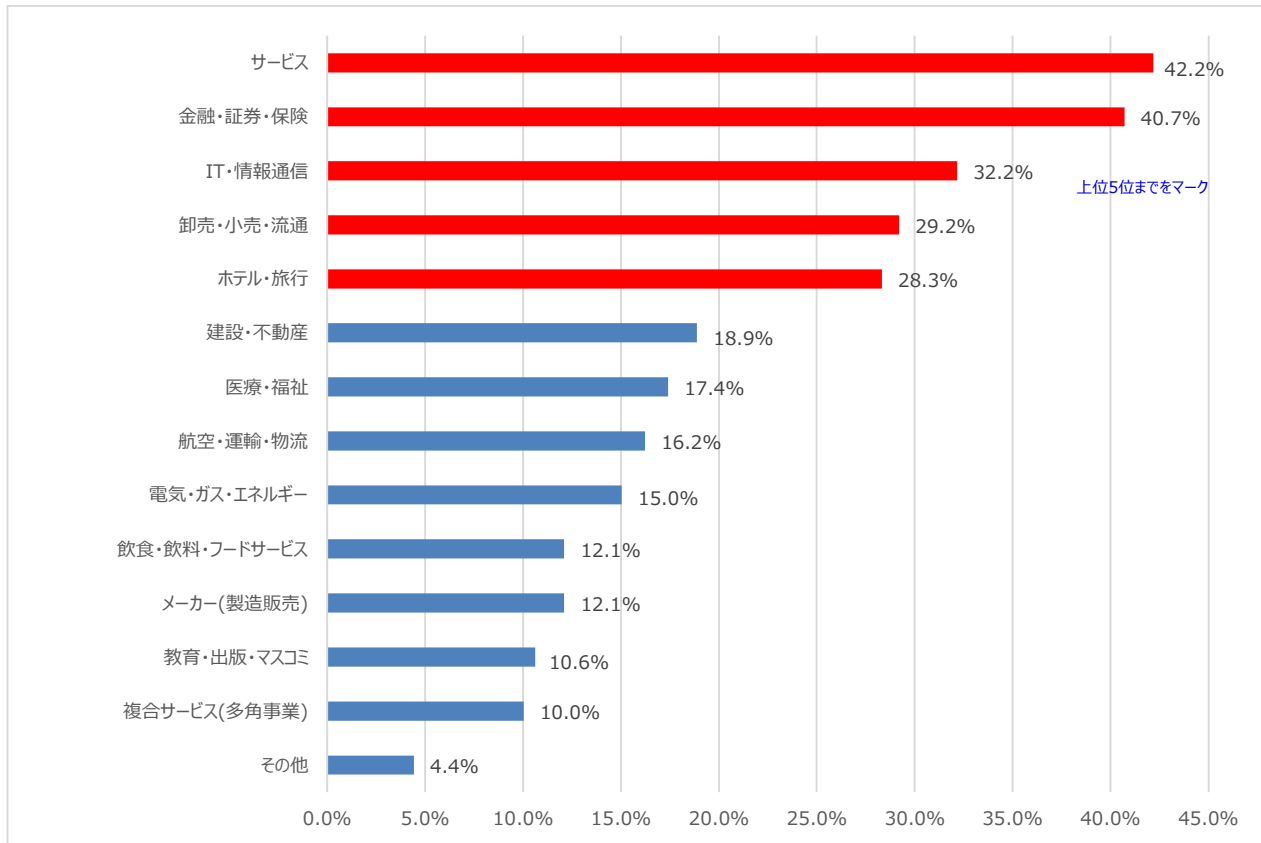


## ●興味のある業界

興味のある業界は1位「サービス」42.2%、2位「金融・証券・保険」40.7%、3位「IT・情報通信」32.2%、4位「卸売・小売・流通」29.2%、5位「ホテル・旅行」28.3%の順だった。

学校別でみると、大学生では1位「サービス」48.4%、2位「金融・証券・保険」46.7%、3位「卸売・小売・流通」37.4%。一方、専門・専修学校生では1位「金融・証券・保険」35.6%、2位「サービス」33.3%、3位「IT・情報通信」31.9%となった。

### ■興味のある業界（複数回答） ★23年卒：3・4月合説参加者(n=339)、22年卒：3・4月合説参加者(n=297)



| 興味のある業界       | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|---------------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|               | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| サービス          | 42.2% | 48.1% | 48.4% | 47.2% | 33.3%      | 54.8% |
| 金融・証券・保険      | 40.7% | 27.9% | 46.7% | 39.9% | 35.6%      | 9.6%  |
| IT・情報通信       | 32.2% | 45.1% | 32.4% | 45.5% | 31.9%      | 42.3% |
| 卸売・小売・流通      | 29.2% | 19.9% | 37.4% | 24.2% | 20.7%      | 12.5% |
| ホテル・旅行        | 28.3% | 28.6% | 28.0% | 23.0% | 27.4%      | 40.4% |
| 建設・不動産        | 18.9% | 10.4% | 15.9% | 12.9% | 24.4%      | 5.8%  |
| 医療・福祉         | 17.4% | 12.1% | 12.6% | 14.6% | 17.0%      | 7.7%  |
| 航空・運輸・物流      | 16.2% | 10.1% | 18.7% | 13.5% | 15.6%      | 5.8%  |
| 電気・ガス・エネルギー   | 15.0% | 10.4% | 19.2% | 12.4% | 9.6%       | 4.8%  |
| メーカー(製造販売)    | 12.1% | 13.1% | 15.4% | 18.0% | 7.4%       | 4.8%  |
| 飲食・飲料・フードサービス | 12.1% | 16.2% | 12.6% | 15.7% | 11.1%      | 18.3% |
| 教育・出版・マスコミ    | 10.6% | 9.1%  | 15.4% | 13.5% | 4.4%       | 1.0%  |
| 複合サービス(多角事業)  | 10.0% | 10.8% | 12.1% | 15.2% | 7.4%       | 3.8%  |
| その他           | 4.4%  | 3.4%  | 1.1%  | 3.9%  | 9.6%       | 1.9%  |

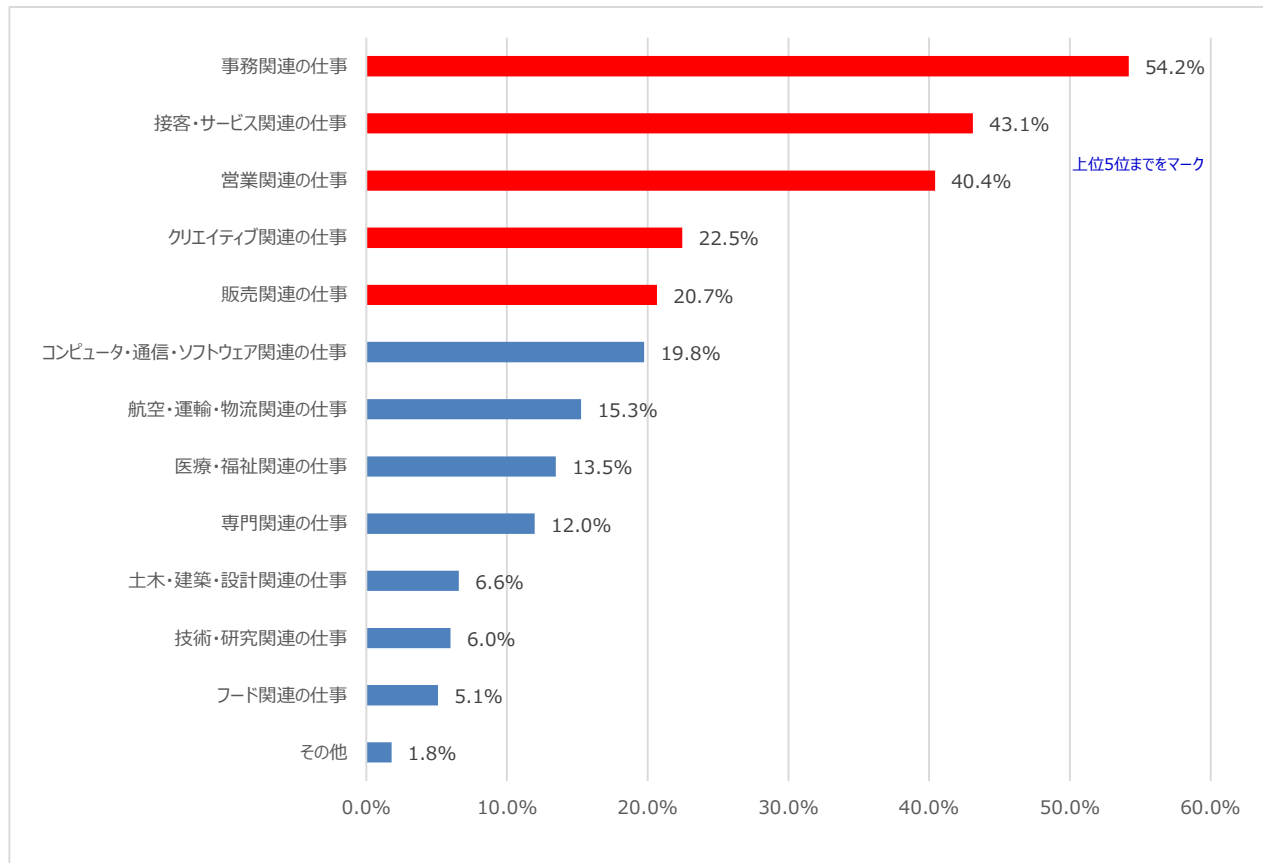
表内・上位5位までをマーク

## ●興味のある職種

興味のある職種は、1位「事務」54.2%、2位「接客・サービス」43.1%、3位「営業」40.4%、4位「クリエイティブ」22.5%、5位「販売」20.7%。22年卒との上位5位を比較すると、上位3位は変わりなし。「クリエイティブ」「販売」はそれぞれ1つ順位を上げた。

学校別でみると、大学生は1位「営業」52.0%、2位「接客・サービス」49.2%、3位「事務」44.1%、4位「販売」23.5%、5位「クリエイティブ」22.9%。専門・専修学校生は1位「事務」64.9%、2位「接客・サービス」34.3%、3位「営業」26.9%、同率4位「クリエイティブ」「コンピュータ・通信・ソフトウェア」21.6%。

### ■興味のある職種（複数回答） ★23年卒：3・4月合説参加者(n=334)、22年卒：3・4月合説参加者(n=300)



| 興味のある職種               | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|-----------------------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|                       | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| 事務関連の仕事               | 54.2% | 37.7% | 44.1% | 49.7% | 64.9%      | 17.0% |
| 接客・サービス関連の仕事          | 43.1% | 42.3% | 49.2% | 41.9% | 34.3%      | 45.3% |
| 営業関連の仕事               | 40.4% | 33.0% | 52.0% | 45.8% | 26.9%      | 13.2% |
| クリエイティブ関連の仕事          | 22.5% | 25.7% | 22.9% | 29.6% | 21.6%      | 18.9% |
| 販売関連の仕事               | 20.7% | 25.3% | 23.5% | 22.9% | 16.4%      | 31.1% |
| コンピュータ・通信・ソフトウェア関連の仕事 | 19.8% | 33.0% | 20.1% | 30.7% | 21.6%      | 36.8% |
| 航空・運輸・物流関連の仕事         | 15.3% | 8.3%  | 17.3% | 11.7% | 14.9%      | 3.8%  |
| 医療・福祉関連の仕事            | 13.5% | 10.0% | 10.6% | 12.8% | 11.2%      | 5.7%  |
| 専門関連の仕事               | 12.0% | 13.7% | 11.7% | 13.4% | 11.9%      | 14.2% |
| 土木・建築・設計関連の仕事         | 6.6%  | 3.3%  | 5.0%  | 4.5%  | 9.0%       | 0.9%  |
| 技術・研究関連の仕事            | 6.0%  | 9.7%  | 5.0%  | 7.3%  | 7.5%       | 9.4%  |
| フード関連の仕事              | 5.1%  | 6.0%  | 6.1%  | 7.3%  | 3.7%       | 4.7%  |
| その他                   | 1.8%  | 0.3%  | 1.1%  | 0.6%  | 3.0%       | 0.0%  |

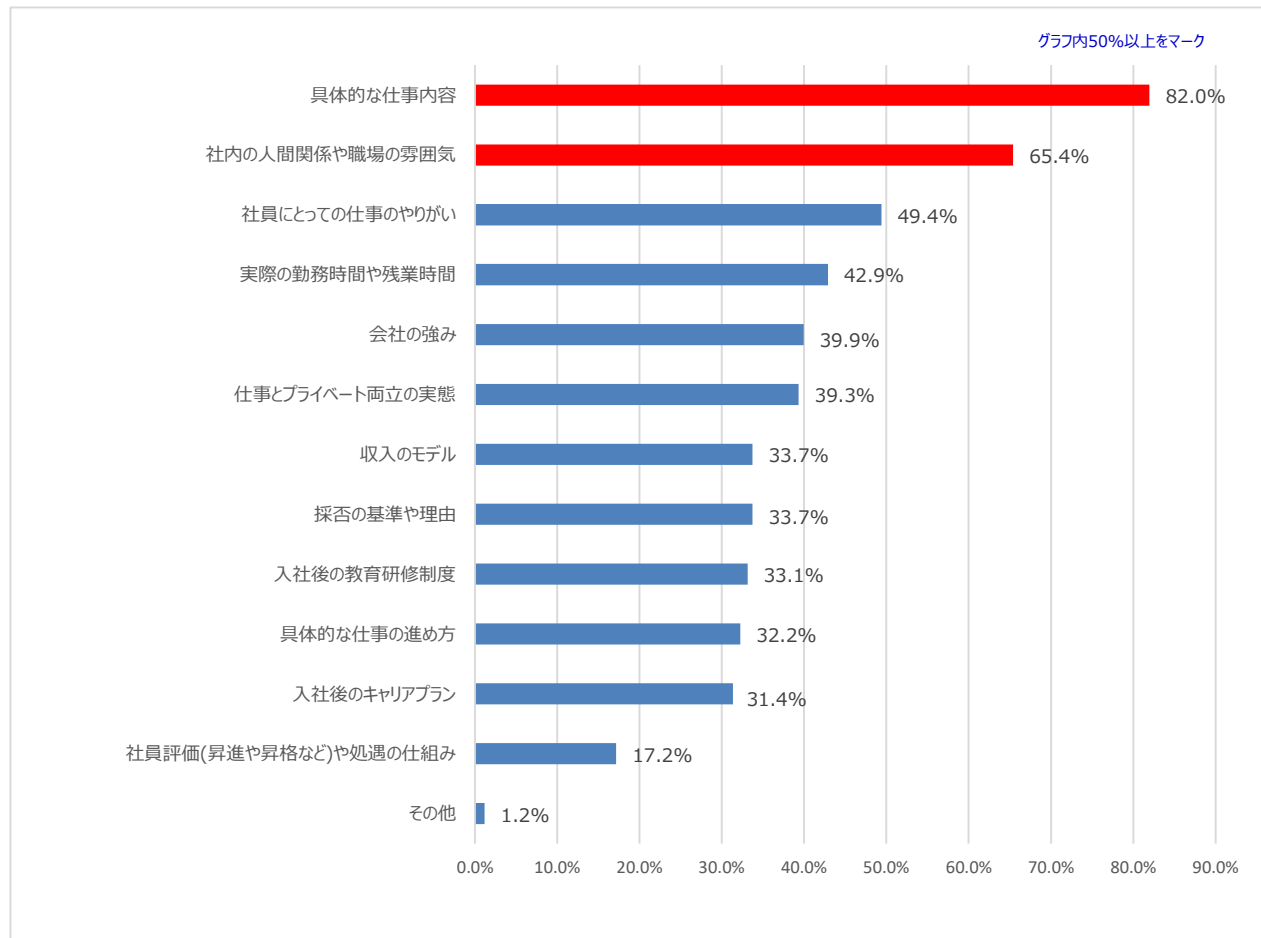
表内・上位5位までをマーク

## ● 知りたい情報

就職活動中に強く知りたいと思う情報は「具体的な仕事内容」82.0%、「社内の人間関係や職場の雰囲気」65.4%、「社員にとっての仕事のやりがい」49.4%が上位3位。22年卒でもこの3項目が上位3位であった。

大学生、専門・専修学校生が選ぶ上位3位も、全体の順位と同じ。

### ■ 就職活動中に強く知りたいと思う情報は？（複数回答） ★23年卒：3・4月合説参加者(n=338)、22年卒：3・4月合説参加者(n=299)



| 情報収集方法               | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|----------------------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|                      | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| 具体的な仕事内容             | 82.0% | 73.6% | 84.7% | 77.8% | 77.4%      | 63.5% |
| 社内の人間関係や職場の雰囲気       | 65.4% | 51.8% | 66.1% | 65.6% | 61.7%      | 26.9% |
| 社員にとっての仕事のやりがい       | 49.4% | 45.8% | 51.4% | 56.1% | 46.6%      | 28.8% |
| 実際の勤務時間や残業時間         | 42.9% | 38.1% | 42.1% | 47.2% | 42.1%      | 20.2% |
| 会社の強み                | 39.9% | 36.8% | 45.9% | 47.8% | 34.6%      | 16.3% |
| 仕事とプライベート両立の実態       | 39.3% | 36.1% | 39.3% | 43.9% | 37.6%      | 21.2% |
| 採否の基準や理由             | 33.7% | 37.1% | 36.1% | 41.7% | 27.1%      | 26.0% |
| 収入のモデル               | 33.7% | 33.8% | 32.8% | 35.6% | 30.8%      | 29.8% |
| 入社後の教育研修制度           | 33.1% | 30.4% | 33.3% | 35.0% | 32.3%      | 22.1% |
| 具体的な仕事の進め方           | 32.2% | 25.8% | 33.9% | 32.8% | 27.8%      | 14.4% |
| 入社後のキャリアプラン          | 31.4% | 32.8% | 35.5% | 39.4% | 27.8%      | 20.2% |
| 社員評価(昇進や昇格など)や処遇の仕組み | 17.2% | 15.7% | 15.8% | 17.8% | 19.5%      | 11.5% |
| その他                  | 1.2%  | 0.3%  | 1.1%  | 0.0%  | 1.5%       | 1.0%  |

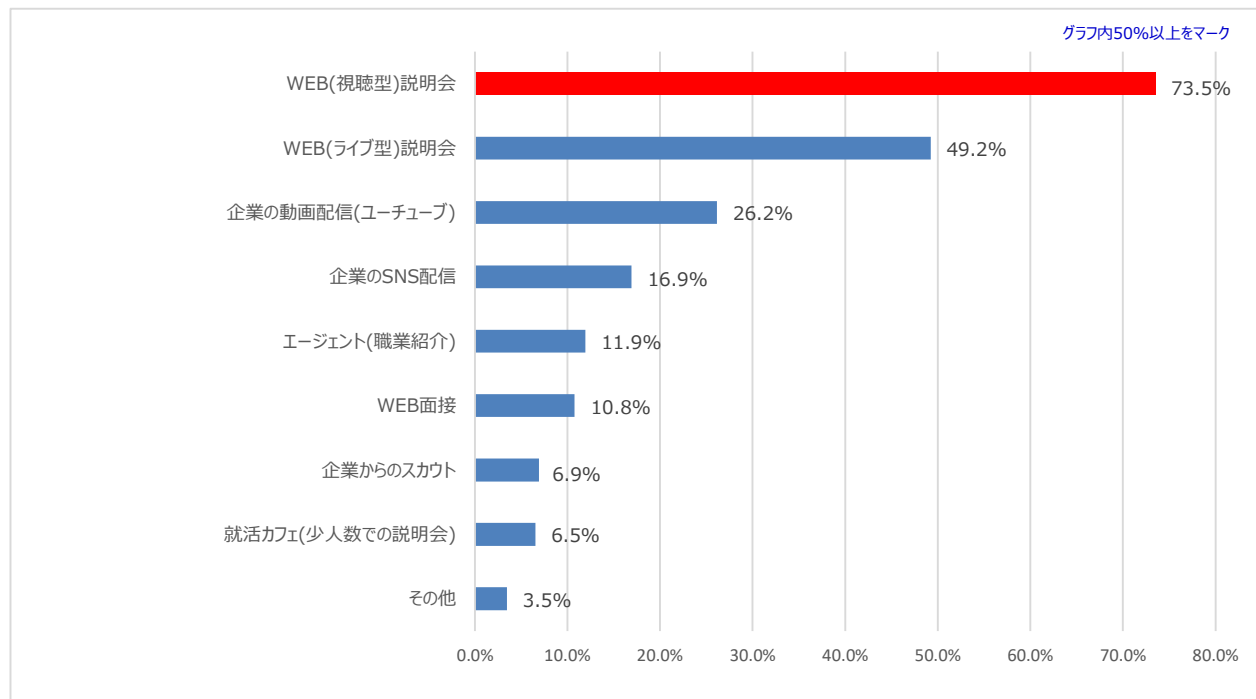
表内・50%以上をマーク

## ●就活で活用したいツール

就活で活用したいツールは「WEB(視聴型)説明会」73.5%がトップ。次いで「WEB(ライブ型)説明会」49.2%、「企業の動画配信(ユーチューブ)」26.2%、「企業のSNS配信」16.9%、「エージェント(職業紹介)」11.9%の順。22年卒と比較すると、1・2位は変わらないが、3位の「企業の動画配信(ユーチューブ)」は前年5位から、4位の「企業のSNS配信」は前年8位から、5位の「エージェント(職業紹介)」は前年7位から、それぞれ順位を上げた。

学校別でみると、1・2位は大学生、専門・専修学校生共に「WEB(視聴型)説明会」(大学生:82.9%、専門・専修学校生58.0%)、「WEB(ライブ型)説明会」(大学生:59.9%、専門・専修学校生:29.5%)。3・4位は大学生と専門・専修学校生とで順位が入れ替わるものの、「企業の動画配信(ユーチューブ)」(大学生:3位35.5%、専門・専修学校生:4位11.4%)、「企業のSNS配信」(大学生:4位19.7%、専門・専修学校生:3位12.5%)と、SNSを活用した情報収集が支持された。

### ■就活で活用したいツールは？（複数回答） ★23年卒：3・4月合説参加者(n=260)、22年卒：3・4月合説参加者(n=251)



| 情報収集方法          | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|                 | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| WEB(視聴型)説明会     | 73.5% | 73.3% | 82.9% | 77.4% | 58.0%      | 62.3% |
| WEB(ライブ型)説明会    | 49.2% | 44.6% | 59.9% | 48.4% | 29.5%      | 32.5% |
| 企業の動画配信(ユーチューブ) | 26.2% | 25.5% | 35.5% | 30.8% | 11.4%      | 15.6% |
| 企業のSNS配信        | 16.9% | 14.3% | 19.7% | 13.2% | 12.5%      | 16.9% |
| エージェント(職業紹介)    | 11.9% | 19.1% | 13.8% | 17.0% | 9.1%       | 22.1% |
| WEB面接           | 10.8% | 29.1% | 15.8% | 27.7% | 3.4%       | 35.1% |
| 企業からのスカウト       | 6.9%  | 27.1% | 10.5% | 34.6% | 1.1%       | 14.3% |
| 就活カフェ(少人数での説明会) | 6.5%  | 20.3% | 7.9%  | 27.7% | 4.5%       | 7.8%  |
| その他             | 3.5%  | 0.4%  | 1.3%  | 0.6%  | 8.0%       | 0.0%  |

表内・50%以上をマーク

## ●就活開始時期

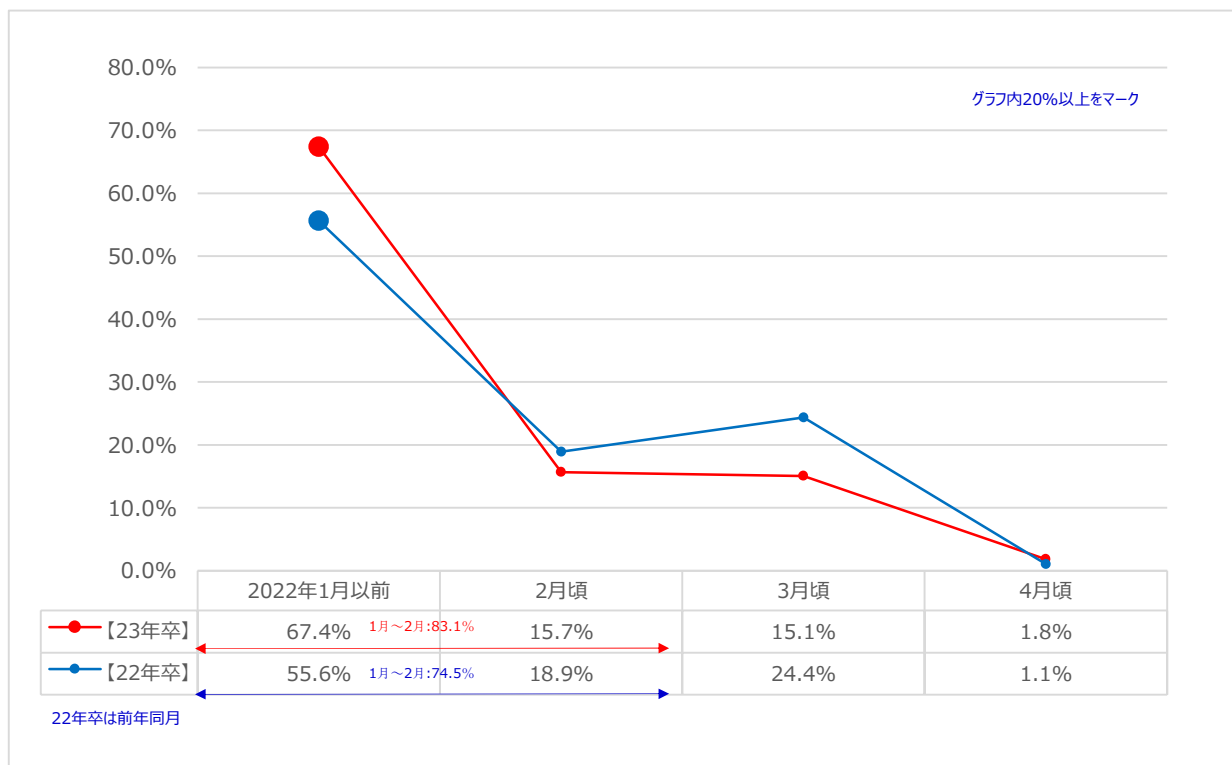
就活開始時期は、「1月以前」が最も多く67.4%を占めた。広報解禁に着目すると、23年卒は解禁前に就職活動を開始した学生が、22年卒より8.6ポイント増加している(23年卒:83.1%、22年卒74.5%)。学校別でも、大学生は88.6%で前年比4.6ポイント増加、専門・専修学校生は76.6%で前年比14.1ポイント増加しており、専門・専修学校生での早まりが強い。

※ 2023年卒採用活動では、企業の採用広報解禁時期を3年生の3月、面接等の採用選考活動開始は4年生の6月とした。

※ 2022年卒については、広報解禁前の2021年1月～広報解禁月の同年3月にかけて、2度目の緊急事態宣言の影響下にあった。

### ■いつ頃から就職活動を始めましたか？（自由回答）

★23年卒：3・4月合説参加者(n=325)、22年卒：3・4月合説参加者(n=275)



| 就職活動開始時期  | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|-----------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|           | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| 2022年1月以前 | 67.4% | 55.6% | 74.9% | 64.4% | 62.5%      | 42.7% |
| 2月        | 15.7% | 18.9% | 13.7% | 19.6% | 14.1%      | 19.8% |
| 3月(広報解禁)  | 15.1% | 24.4% | 9.7%  | 14.7% | 21.1%      | 37.5% |
| 4月        | 1.8%  | 1.1%  | 1.7%  | 1.2%  | 2.3%       | 0.0%  |

表内・20%以上をマーク

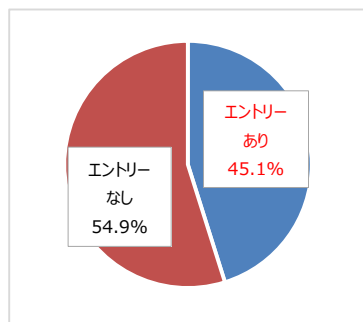
## ●エントリー状況

エントリーの状況は、「エントリーあり」45.1%、「エントリーなし」54.9%（「エントリーあり」大学生：65.5%、専門・専修学校生：21.4%）。22年卒と比較し「エントリーあり」が増え、専門・専修学校生は前年比11.4ポイント増加した。

エントリー社数は、「1～5社」55.6%が最多（「1～5社」大学生：47.3%、専門・専修学校生：85.2%）。大学生で「6～10社」が10.1ポイント、「21～30社」でも3.5ポイント増加。

平均エントリー社数は全体8.4社、大学生9.2社、専門・専修学校生5.3社。大学生の平均値が0.7ポイント増加しており、6～30社のゾーンの増加が平均値を引き上げたと考えられる。

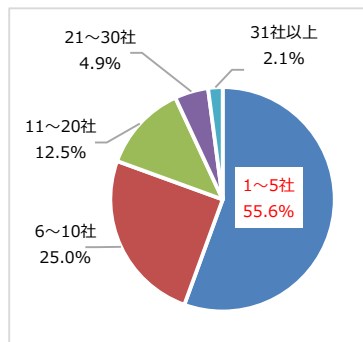
### ■エントリーの状況は？ ★23年卒：3・4月合説参加者(n=319)、22年卒：3・4月合説参加者(n=284)



| エントリー状況 | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|---------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|         | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| エントリーあり | 45.1% | 43.3% | 65.5% | 64.7% | 21.4%      | 10.0% |
| エントリーなし | 54.9% | 56.7% | 34.5% | 35.3% | 78.6%      | 90.0% |

※表内・上位をマーク

### ■エントリーした企業数 ★23年卒：3・4月合説参加者(n=144)、22年卒：3・4月合説参加者(n=123)



| エントリー社数 | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|---------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|         | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| 1～5社    | 55.6% | 60.2% | 47.3% | 59.3% | 85.2%      | 70.0% |
| 6～10社   | 25.0% | 19.5% | 29.5% | 19.4% | 11.1%      | 20.0% |
| 11～20社  | 12.5% | 14.6% | 15.2% | 14.8% | 0.0%       | 10.0% |
| 21～30社  | 4.9%  | 2.4%  | 6.3%  | 2.8%  | 0.0%       | 0.0%  |
| 31社以上   | 2.1%  | 3.3%  | 1.8%  | 3.7%  | 3.7%       | 0.0%  |

※表内・上位をマーク

| エントリー社数 | 【全体】 |      | 【大学生】 |      | 【専門・専修学校生】 |      |
|---------|------|------|-------|------|------------|------|
|         | 23年卒 | 22年卒 | 23年卒  | 22年卒 | 23年卒       | 22年卒 |
| 平均値     | 8.4  | 8.2  | 9.2   | 8.5  | 5.3        | 5.7  |

## ●会社訪問や個別会社説明会の参加状況

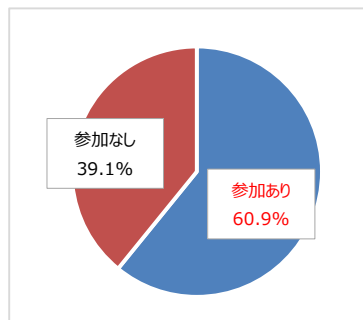
会社訪問・個別会社説明会の参加状況は、「参加あり」60.9%、「参加なし」39.1%（「参加あり」大学生：76.4%、専門・専修学校生：39.7%）。22年卒と比較し、全体、大学生、専門・専修学校生共に「参加あり」が増加した。

参加社数は、「1～5社」73.0%が最多で、学校別の1位も同じ（「1～5社」大学生：69.9%、専門・専修学校生：76.0%）。22年卒と比較すると、次点の「6～10社」は全体、大学、専門・専修学校生共に増加しているものの、11社以上は減少。

平均参加社数は全体4.2社、大学生4.5社、専門・専修学校生3.8社。11社以上の参加割合が前年比で減少している影響により、全体、大学生での平均値が減少した。

※ 2022年卒については、広報解禁前の2021年1月～広報解禁月の同年3月にかけて、2度目の緊急事態宣言の影響下にあった。

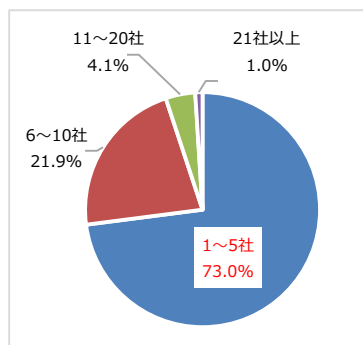
### ■会社訪問や個別会社説明会の参加状況は？ ★23年卒：3・4月合説参加者(n=322)、22年卒：3・4月合説参加者(n=283)



| 参加状況 | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|      | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| 参加あり | 60.9% | 45.9% | 76.4% | 64.8% | 39.7%      | 17.8% |
| 参加なし | 39.1% | 54.1% | 23.6% | 35.2% | 60.3%      | 82.2% |

※表内・上位をマーク

### ■会社訪問や個別会社説明会の参加社数 ★23年卒：3・4月合説参加者(n=196)、22年卒：3・4月合説参加者(n=130)



| 参加社数   | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|        | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| 1～5社   | 73.0% | 77.7% | 69.9% | 77.6% | 76.0%      | 77.8% |
| 6～10社  | 21.9% | 12.3% | 23.3% | 12.1% | 24.0%      | 16.7% |
| 11～20社 | 4.1%  | 7.7%  | 5.3%  | 8.4%  | 0.0%       | 5.6%  |
| 21社以上  | 1.0%  | 2.3%  | 1.5%  | 1.9%  | 0.0%       | 0.0%  |

※表内・上位をマーク

| 参加社数 | 【全体】 |      | 【大学生】 |      | 【専門・専修学校生】 |      |
|------|------|------|-------|------|------------|------|
|      | 23年卒 | 22年卒 | 23年卒  | 22年卒 | 23年卒       | 22年卒 |
| 平均値  | 4.2  | 5.1  | 4.5   | 5.2  | 3.8        | 3.8  |



## ●学外の合同企業説明会への参加状況

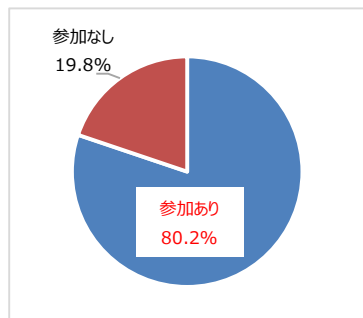
学外の合同企業説明会の参加状況は「参加あり」80.2%、「参加なし」19.8%（「参加あり」大学生：85.6%、専門・専修学校生：70.9%）。22年卒と比較すると、全体は微増、大学は微減と大きな変化はないが、専門・専修学校生では12.3ポイント増加した。

参加回数は全体では「2回」23.9%が最多。大学生では「3回」20.1%、専門・専修学校生では「2回」34.4%がそれぞれ最多であった。3回以上参加している学生は、全体53.3%、大学生65.1%、専門・専修学校生42.1%。

平均参加回数は全体3.4回、大学生3.8回、専門・専修学校生2.9回。全体と大学生との平均値は22年卒と変わらなかったが、専門・専修学校生は0.7ポイント微増した。

※ 2022年卒については、広報解禁前の2021年1月～広報解禁月の同年3月にかけて、2度目の緊急事態宣言の影響下にあった。

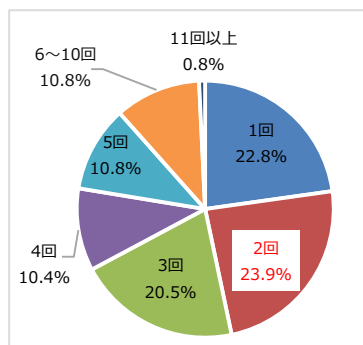
### ■学外の合同企業説明会への参加状況は？ ★23年卒：3・4月合説参加者(n=323)、22年卒：3・4月合説参加者(n=281)



| 参加状況 | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|      | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| 参加あり | 80.2% | 76.2% | 85.6% | 88.0% | 70.9%      | 58.6% |
| 参加なし | 19.8% | 23.8% | 14.4% | 12.0% | 29.1%      | 41.4% |

※表内・上位をマーク

### ■学外の合同企業説明会への参加回数 ★23年卒：3・4月合説参加者(n=259)、22年卒：3・4月合説参加者(n=214)



| 参加回数  | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|       | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| 1回    | 22.8% | 14.0% | 16.8% | 13.7% | 23.3%      | 13.8% |
| 2回    | 23.9% | 35.5% | 18.1% | 24.0% | 34.4%      | 69.0% |
| 3回    | 20.5% | 17.3% | 20.1% | 19.2% | 23.3%      | 10.3% |
| 4回    | 10.4% | 7.0%  | 12.1% | 9.6%  | 10.0%      | 0.0%  |
| 5回    | 10.8% | 14.0% | 16.8% | 16.4% | 3.3%       | 6.9%  |
| 6～10回 | 10.8% | 11.2% | 15.4% | 16.4% | 4.4%       | 0.0%  |
| 11回以上 | 0.8%  | 0.9%  | 0.7%  | 0.7%  | 1.1%       | 0.0%  |

※表内・上位をマーク

| 参加回数 | 【全体】 |      | 【大学生】 |      | 【専門・専修学校生】 |      |
|------|------|------|-------|------|------------|------|
|      | 23年卒 | 22年卒 | 23年卒  | 22年卒 | 23年卒       | 22年卒 |
| 平均値  | 3.4  | 3.4  | 3.8   | 3.8  | 2.9        | 2.2  |

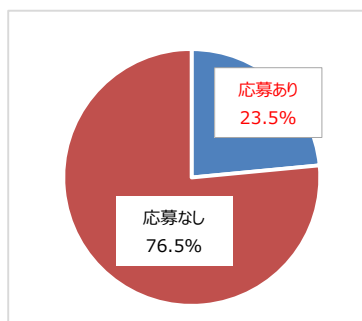
## ●応募状況

応募状況は「応募あり」23.5%、「応募なし」76.5%（「応募あり」大学生：33.3%、専門・専修学校生：11.5%）。全体、大学生は22年卒より減少、専門・専修学校生は微増した。

「応募あり」学生の実応募社数は、全体、大学生、専門・専修学校生共に「1社」が最多。次点は、全体と大学生で「2社」、専門・専修学校生は「4社」であった。5社以上応募している学生も全体、大学生、専門・専修学校生でそれぞれ23.0%、24.5%、21.4%だった。

平均応募社数は全体3.7社、大学生4.0社、専門・専修学校生3.2社。全体と専門・専修学校生で微減し、大学生は22年卒の平均値から変化はなかった。

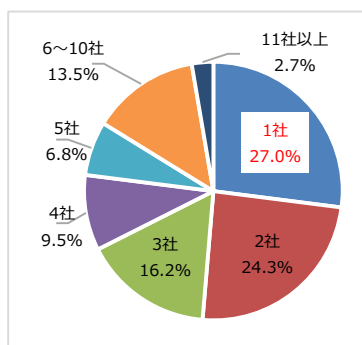
### ■現在までの応募状況は？ ★23年卒：3・4月合説参加者(n=315)、22年卒：3・4月合説参加者(n=279)



| 応募状況 | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|      | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| 応募あり | 23.5% | 29.4% | 33.3% | 41.7% | 11.5%      | 10.0% |
| 応募なし | 76.5% | 70.6% | 66.7% | 58.3% | 88.5%      | 90.0% |

※表内・上位をマーク

### ■応募社数 ★23年卒：3・4月合説参加者(n=74)、22年卒：3・4月合説参加者(n=82)



| 応募社数  | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|       | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| 1社    | 27.0% | 22.0% | 26.3% | 22.1% | 35.7%      | 10.0% |
| 2社    | 24.3% | 24.4% | 22.8% | 20.6% | 14.3%      | 60.0% |
| 3社    | 16.2% | 11.0% | 19.3% | 13.2% | 7.1%       | 0.0%  |
| 4社    | 9.5%  | 9.8%  | 7.0%  | 10.3% | 21.4%      | 10.0% |
| 5社    | 6.8%  | 17.1% | 7.0%  | 16.2% | 7.1%       | 10.0% |
| 6~10社 | 13.5% | 13.4% | 14.0% | 16.2% | 14.3%      | 0.0%  |
| 11社以上 | 2.7%  | 2.4%  | 3.5%  | 1.5%  | 0.0%       | 10.0% |

※表内・上位をマーク

| 応募社数 | 【全体】 |      | 【大学生】 |      | 【専門・専修学校生】 |      |
|------|------|------|-------|------|------------|------|
|      | 23年卒 | 22年卒 | 23年卒  | 22年卒 | 23年卒       | 22年卒 |
| 平均値  | 3.7  | 3.9  | 4.0   | 4.0  | 3.2        | 3.5  |

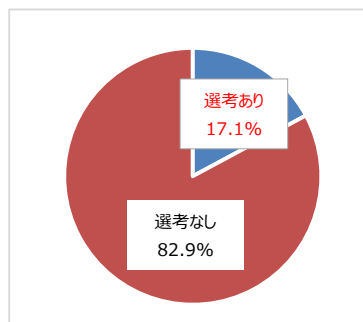
## ●選考状況

選考状況は「選考あり」17.1%、「選考なし」82.9%（「選考あり」大学生：24.3%、専門・専修学校生：7.9%）。全体、大学生、専門・専修学校生ともに22年卒より微増した。

「選考あり」学生の選考社数は全体、大学生、専門・専修学校生共に「1社」が最多（全体47.3%、大学生47.6%、専門・専修学校生50.0%）。22年卒と比較すると、全体、大学生で1・2社および5社以上のゾーンが増加。3・4社応募した学生の割合は減少した。

平均選考社数は全体2.3社、大学生2.4社、専門・専修学校生1.8社。22年卒と比較し、大きな変化はなかった。

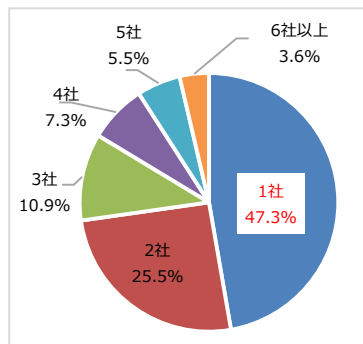
### ■現在までの選考状況は？ ★23年卒：3・4月合説参加者(n=321)、22年卒：3・4月合説参加者(n=280)



| 選考状況 | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|      | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| 選考あり | 17.1% | 16.1% | 24.3% | 23.5% | 7.9%       | 4.0%  |
| 選考なし | 82.9% | 83.9% | 75.7% | 76.5% | 92.1%      | 96.0% |

※表内・上位をマーク

### ■選考社数 ★23年卒：3・4月合説参加者(n=55)、22年卒：3・4月合説参加者(n=45)



| 選考社数 | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|      | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| 1社   | 47.3% | 40.0% | 47.6% | 36.8% | 50.0%      | 50.0% |
| 2社   | 25.5% | 20.0% | 23.8% | 21.1% | 30.0%      | 25.0% |
| 3社   | 10.9% | 22.2% | 11.9% | 23.7% | 10.0%      | 25.0% |
| 4社   | 7.3%  | 11.1% | 4.8%  | 10.5% | 10.0%      | 0.0%  |
| 5社   | 5.5%  | 4.4%  | 7.1%  | 5.3%  | 0.0%       | 0.0%  |
| 6社以上 | 3.6%  | 2.2%  | 4.8%  | 2.6%  | 0.0%       | 0.0%  |

※表内・上位をマーク

| 選考社数 | 【全体】 |      | 【大学生】 |      | 【専門・専修学校生】 |      |
|------|------|------|-------|------|------------|------|
|      | 23年卒 | 22年卒 | 23年卒  | 22年卒 | 23年卒       | 22年卒 |
| 平均値  | 2.3  | 2.3  | 2.4   | 2.3  | 1.8        | 1.8  |

## ●内定状況

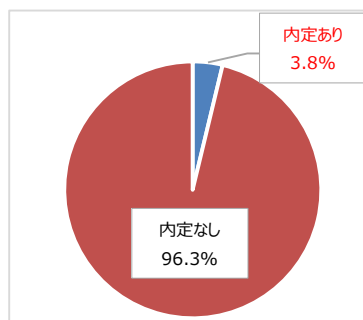
内定状況は、「内定あり」3.8%、「内定なし」96.3%（「内定あり」大学生：6.4%、専門・専修学校生：0.8%）。

内定社数は、全体、大学生、専門・専修学校生共に「1社」が最多（全体50.0%、大学生45.5%、専門・専修学校生100.0%）。大学生は、2社以上の内定を得ている学生も54.6%いた。

内定社数を22年卒と比較すると、1社ないし5社獲得した学生は減少。2社ないし3社獲得した学生は増加した。

平均内定社数は全体1.7社、大学生1.7社、専門・専修学校生1.0社。内定社数「5社」の学生が前年より減少している影響か、全体、大学生の平均値は22年卒と比較し0.2ポイント減少した。

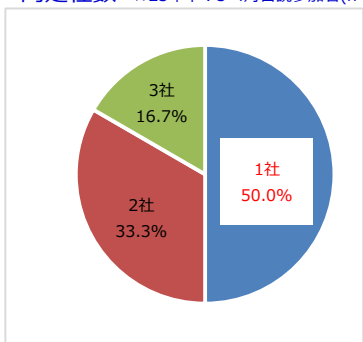
### ■現在までの内定状況は？ ★23年卒：3・4月合説参加者(n=320)、22年卒：3・4月合説参加者(n=282)



| 内定状況 | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |        |
|------|-------|-------|-------|-------|------------|--------|
|      | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒   |
| 内定あり | 3.8%  | 2.8%  | 6.4%  | 4.9%  | 0.8%       | 0.0%   |
| 内定なし | 96.3% | 97.2% | 93.6% | 95.1% | 99.2%      | 100.0% |

※表内・上位をマーク

### ■内定社数 ★23年卒：3・4月合説参加者(n=12)、22年卒：3・4月合説参加者(n=8)



| 内定社数 | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |      |
|------|-------|-------|-------|-------|------------|------|
|      | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒 |
| 1社   | 50.0% | 62.5% | 45.5% | 62.5% | 100.0%     | 0.0% |
| 2社   | 33.3% | 12.5% | 36.4% | 12.5% | 0.0%       | 0.0% |
| 3社   | 16.7% | 12.5% | 18.2% | 12.5% | 0.0%       | 0.0% |
| 5社   | 0.0%  | 12.5% | 0.0%  | 12.5% | 0.0%       | 0.0% |

※表内・上位をマーク

| 内定社数 | 【全体】 |      | 【大学生】 |      | 【専門・専修学校生】 |      |
|------|------|------|-------|------|------------|------|
|      | 23年卒 | 22年卒 | 23年卒  | 22年卒 | 23年卒       | 22年卒 |
| 平均値  | 1.7  | 1.9  | 1.7   | 1.9  | 1.0        | 0.0  |

## ●就活を終了したい時期

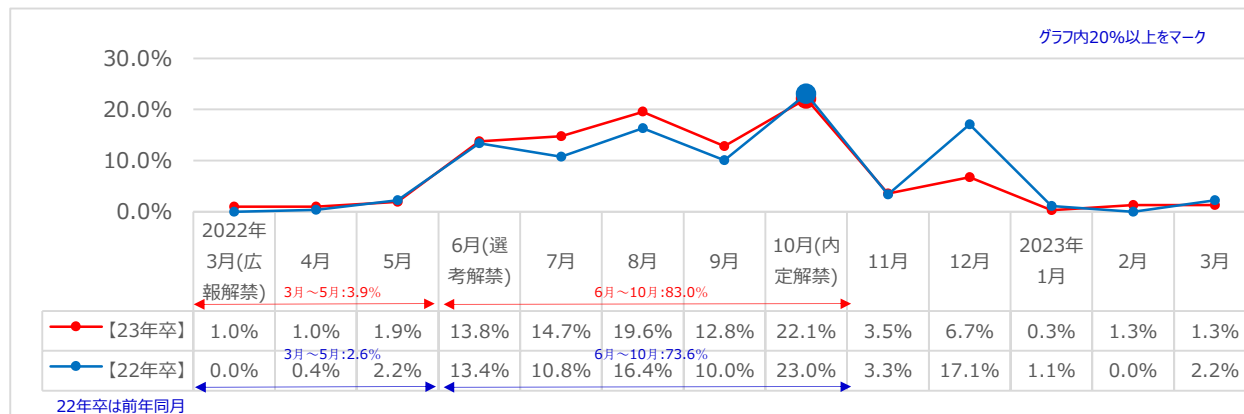
就活を終了したい時期は「10月」が最も多く22.1%。次いで「8月」19.6%、「7月」14.7%、「6月」13.8%、「9月」12.8%と、6～10月に83.0%が集中。選考解禁～正式な内定が解禁となる10月までに就活を終えたいと考えている学生が多いことが窺えた。

学校別では、大学生は「8月」24.7%、「7月」18.8%、「6月」17.6%と、選考解禁～夏までに終えたいとする層が61.1%。専門・専修学校生は「10月」29.2%、「8月」14.2%、「9月」12.5%と、夏～内定解禁までに終えたいとする層が55.9%で、大学生の方が専門・専修学校生よりも早めに就活を終了したいと考えていることが見て取れる。

22年卒と比較すると、広報解禁の3月～選考解禁前の5月までに終了したい学生や選考解禁の6月～内定解禁の10月の間で終了したい学生の割合が増えた(3月～5月:1.3ポイント増加、6月～10月:9.4ポイント増加)。年内までに決めたい層は減少した(「12月」23年卒6.7%、22年卒17.1%)。

※ 2023年卒採用活動では、企業の広報解禁は3年生の3月、面接等の採用選考活動開始は4年生の6月、正式な内定は4年生の10月以降とした。

## ■いつまでに就職活動を終わりたいですか？（自由回答） ★23年卒：3・4月合説参加者(n=312)、22年卒：3・4月合説参加者(n=269)



| 就職活動終了時期      | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|---------------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|               | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| 2022年3月(広報解禁) | 1.0%  | 0.0%  | 1.2%  | 0.0%  | 0.8%       | 0.0%  |
| 4月            | 1.0%  | 0.4%  | 1.2%  | 0.6%  | 0.8%       | 0.0%  |
| 5月            | 1.9%  | 2.2%  | 2.4%  | 3.1%  | 1.7%       | 0.0%  |
| 6月(選考解禁)      | 13.8% | 13.4% | 17.6% | 17.0% | 10.0%      | 9.5%  |
| 7月            | 14.7% | 10.8% | 18.8% | 14.5% | 10.0%      | 4.2%  |
| 8月            | 19.6% | 16.4% | 24.7% | 17.6% | 14.2%      | 12.6% |
| 9月            | 12.8% | 10.0% | 13.5% | 14.5% | 12.5%      | 3.2%  |
| 10月(内定解禁)     | 22.1% | 23.0% | 13.5% | 23.9% | 29.2%      | 20.0% |
| 11月           | 3.5%  | 3.3%  | 0.6%  | 1.3%  | 8.3%       | 7.4%  |
| 12月           | 6.7%  | 17.1% | 4.1%  | 6.9%  | 8.3%       | 35.8% |
| 2023年1月       | 0.3%  | 1.1%  | 0.6%  | 0.6%  | 0.0%       | 1.1%  |
| 2月            | 1.3%  | 0.0%  | 0.6%  | 0.0%  | 2.5%       | 0.0%  |
| 3月            | 1.3%  | 2.2%  | 1.2%  | 0.0%  | 1.7%       | 6.3%  |

表内・20%以上をマーク

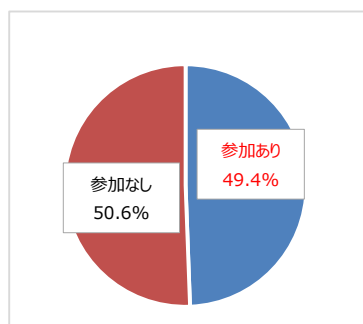
## ●インターンシップの参加状況・参加時期

インターンシップの参加状況は「参加あり」49.4%、「参加なし」50.6%。

インターンシップへ参加した時期は、広報解禁前月の「2022年2月」に97.7%が集中。「2021年8月」も50.8%が参加しており、解禁前月の2月と前年8月(学校の春期・夏期休業の時期)を活用して参加している様子が窺える。

22年卒と比較すると、解禁前月の2月がピークで次点が前年8月という構図に変わりはないが、参加割合は23年卒がどちらも増加(前年同月比:「2022年2月」44.4ポイント増、「2021年8月」28.0ポイント増)。2021年はコロナ禍2年目となり、コロナ禍1年目の22年卒よりインターンシップ参加機会が増えたことが窺える。

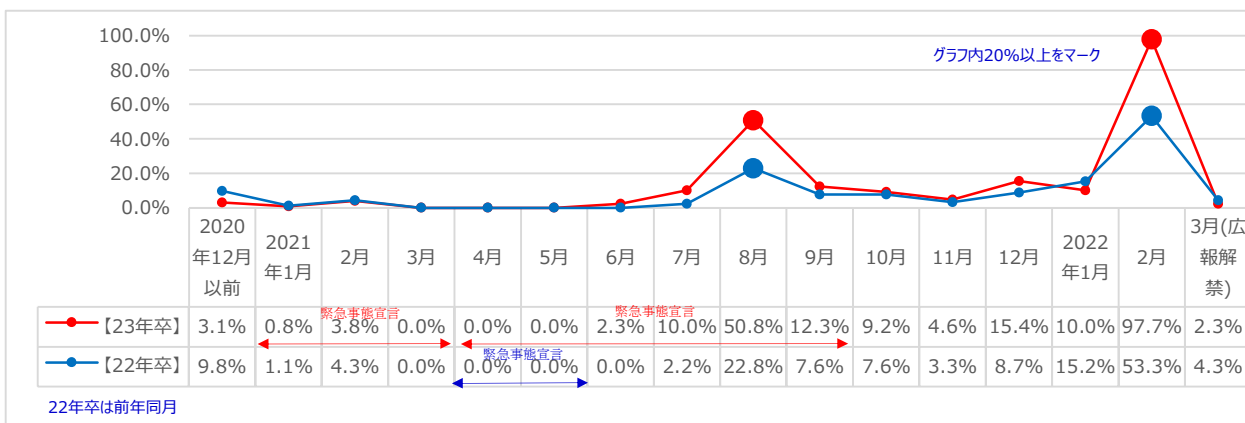
### ■実際にインターンシップに参加したことがありますか？(単一回答) ★23年卒：3・4月合説参加者(n=322)、22年卒：3・4月合説参加者(n=269)



| 参加状況 | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|      | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| 参加あり | 49.4% | 34.2% | 66.1% | 51.5% | 26.2%      | 4.6%  |
| 参加なし | 50.6% | 65.8% | 33.9% | 48.5% | 73.8%      | 95.4% |

※表内・上位をマーク

### ■参加した時期は？(複数回答) ★23年卒：3・4月合説参加者(n=130)、22年卒：3・4月合説参加者(n=92)



| インターンシップ参加時期        | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|                     | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| 2020年12月以前          | 3.1%  | 9.8%  | 4.2%  | 8.2%  | 0.0%       | 0.0%  |
| 2021年1月(緊急事態宣言:~3月) | 0.8%  | 1.1%  | 1.1%  | 1.2%  | 0.0%       | 0.0%  |
| 2月                  | 3.8%  | 4.3%  | 3.2%  | 4.7%  | 7.4%       | 0.0%  |
| 3月                  | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  |
| 4月(緊急事態宣言:~9月)      | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  |
| 5月                  | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  |
| 6月                  | 2.3%  | 0.0%  | 2.1%  | 0.0%  | 3.7%       | 0.0%  |
| 7月                  | 10.0% | 2.2%  | 13.7% | 2.4%  | 0.0%       | 0.0%  |
| 8月                  | 50.8% | 22.8% | 53.7% | 24.7% | 44.4%      | 0.0%  |
| 9月                  | 12.3% | 7.6%  | 15.8% | 8.2%  | 0.0%       | 0.0%  |
| 10月                 | 9.2%  | 7.6%  | 11.6% | 8.2%  | 3.7%       | 0.0%  |
| 11月                 | 4.6%  | 3.3%  | 5.3%  | 3.5%  | 3.7%       | 0.0%  |
| 12月                 | 15.4% | 8.7%  | 20.0% | 9.4%  | 3.7%       | 0.0%  |
| 2022年1月             | 10.0% | 15.2% | 11.6% | 14.1% | 7.4%       | 25.0% |
| 2月                  | 97.7% | 53.3% | 97.9% | 54.1% | 96.3%      | 75.0% |
| 3月(広報解禁)            | 2.3%  | 4.3%  | 2.1%  | 3.5%  | 3.7%       | 25.0% |

表内・20%以上をマーク

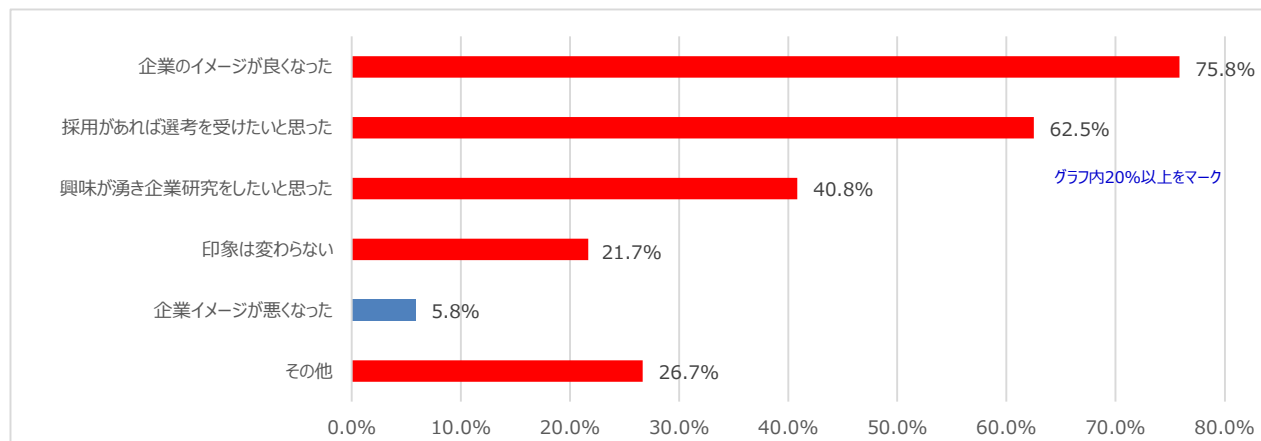
## ●インターンシップ参加の感想

参加した学生がインターンシップ先の企業に感じたことは、「企業のイメージが良くなった」75.8%がトップ、次いで「採用があれば選考を受けたいと思った」62.5%、「興味が湧き企業研究をしたいと思った」40.8%の順で、インターンシップへの参加経験が、好印象につながったことが窺える。

学校別でみると、大学生の上位は全体と同じ。専門・専修学校生は1位は全体・大学生と同じで、2位は「興味が湧き企業研究をしたいと思った」、同率3位「採用があれば選考を受けたいと思った」「印象は変わらない」25.0%。

### ■【インターンシップ参加者のみ回答】参加して感じたことは？（複数回答）

★23年卒：3・4月合説参加者(n=120)、22年卒：3・4月合説参加者(n=92)



| インターンシップ参加の感想     | 【全体】  |       | 【大学生】 |       | 【専門・専修学校生】 |       |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
|                   | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒  | 22年卒  | 23年卒       | 22年卒  |
| 企業のイメージが良くなった     | 75.8% | 50.0% | 80.7% | 50.6% | 79.2%      | 25.0% |
| 採用があれば選考を受けたいと思った | 62.5% | 48.9% | 71.6% | 51.8% | 25.0%      | 25.0% |
| 興味が湧き企業研究をしたいと思った | 40.8% | 17.4% | 40.9% | 18.8% | 37.5%      | 0.0%  |
| 印象は変わらない          | 21.7% | 8.7%  | 21.6% | 8.2%  | 25.0%      | 25.0% |
| 企業イメージが悪くなった      | 5.8%  | 2.2%  | 8.0%  | 2.4%  | 0.0%       | 0.0%  |
| その他               | 26.7% | 10.9% | 31.8% | 10.6% | 16.7%      | 0.0%  |

表内・20%以上をマーク